

～接種に当たって注意事項～

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。お子さんの健康状態が良好でない場合には、医師と相談の上、接種するか決めてください。また、お子さんが以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ① 明らかに37.5度以上の発熱がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ インフルエンザワクチンの成分によって、過去にアナフィラキシーショックをおこしたことがある場合
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び、免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ その他、医師が不相当と判断した場合

また、下記のような事が以前あった場合には接種を受ける場合に必ず医師へご相談の上、接種を受けるかお決め下さい。

- ① 心臓血管疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患がある場合
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを起こしたことがある場合
- ③ 過去に痙攣（ひきつけ）をおこしたことがある場合
- ④ 過去に免疫異常を指摘されたことがある。若しくは近親者に先天性免疫不全症の方がいる場合
- ⑤ インフルエンザ予防接種の成分に対してアレルギー反応を起こす恐れがある場合
- ⑥ 妊娠中、又は妊娠の可能性がある場合

～接種を受けた後の注意事項～

- ① 接種後30分間は、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう
- ② 接種後、1週間は副反応の出現に注意しましょう
- ③ 接種当日の入浴は差支えがありませんが、接種部位をこすりはやめましょう
- ④ 激しい運動は避けましょう
- ⑤ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合には速やかに医師の診察を受けましょう